



平成 28 年 5 月 11 日

各 位

会 社 名 株式会社岡村製作所
代表者名 代表取締役社長 中村 雅行
(コード番号 7994 東証第一部)
問合せ先 常務取締役企画本部長 土志田 貞一
(TEL. 045-319-3440)

中期経営計画について

当企業グループは、中長期の成長を目指した安定的経営基盤の構築、利益重視の効率的経営の実践、環境への配慮をはじめとする社会との信頼関係の向上を基本方針として経営活動を展開しております。

昨年度の業績および現在の事業環境などを勘案し、2018年3月期を最終年度とする「中期経営計画」を策定しましたのでお知らせいたします。

1. 中期経営計画の目標

今年度の日本経済は、金融市場の混乱や円高・株安・資源安による企業業績への悪影響、米国や中国経済の減速など不透明感が高まっているものの、企業収益は過去最高水準で推移し、企業による人材不足解消の積極採用が続くなど明るさもみられており、緩やかながらも成長するものと予想しております。

そのような中、当社は下記の経営目標値の達成に向け、基本戦略に掲げる重点事項を実施し、業績向上を図ってまいります。

経営目標値（連結）

	2017年3月期	2018年3月期
売上高	2,500億円	2,600億円
営業利益	140億円	160億円
経常利益	147億円	168億円
当期利益	98億円	112億円
売上高営業利益率	5.6%	6.2%

2. 中期経営目標達成のための基本戦略

(1) 競争力の向上

各事業における優れた研究成果によるソリューション提案の展開と特徴ある高付加価値製品の開発により他社との差別化を図ります。また、小ロット生産に対応した先進的な生産システムを更に進化させるとともに、生産性向上に向けた自動化を推進することにより市場競争力の向上を図り、販売価格の改善と利益率向上に努めてまいります。

(2) 国内事業基盤の強化

各事業間の連携強化により販売力の強化を推進するとともに、M&Aの推進等による各事業領域の拡大を図ってまいります。オフィス環境事業においては、主力の民間オフィス市場はもとより、教育施設、研究施設、官公庁・自治体などのオフィス周辺市場の需要開拓に注力します。とりわけヘルスケア市場について市場の成長性を鑑み、製品開発、販売チャネル等の強化に取り組んでまいります。また、商環境事業においては、変化する顧客業態を捉えたトータル提案製品の開発強化に努めてまいります。

(3) グローバル化による市場拡大

海外事業基盤確立のため、海外、とりわけ東南アジアにおける販売拠点の整備や代理店の獲得による販売ネットワークの拡大に取り組むとともに、各種展示会への積極的な出展により、オカムラブランドの一層の浸透に努めてまいります。

以 上

(ご参考)

セグメント別売上高 (連結)

	2017年3月期	2018年3月期
オフィス環境事業	1,310億円	1,375億円
商環境事業	1,020億円	1,050億円
その他	170億円	175億円
合 計	2,500億円	2,600億円